

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	・ 今後は年末にかけて、イベントがいろいろあるため、売上は良くなる。
		コンビニ（経営者）	・ 年末年始のイベントや予約商材が多くなり、その獲得数も増えていく予測のため、良くなる。
		都市型ホテル（営業）	・ 毎月1回の全社員営業や日常の営業努力もあり、多少は上向きになってきている。今後も営業活動に力を入れ売上増を図る。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・ 跡継ぎのいない老人の葬式や墓じまい、仏壇の処分、檀家抜けなど、具体的な相談が増えている。
		百貨店（店長）	・ 新たなイベントを企画しており、やや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・ 地元製造業は比較的順調であり、自動車購入の商談数は増えている。
		一般レストラン（経営者）	・ 9月で終了するデスティネーションキャンペーン関連の客は当店には来なかった。
		スナック（経営者）	・ 衆議院選挙が多少の不安要素だが、特に悪くはならないのではないかと。
		観光型ホテル（支配人）	・ 紅葉シーズンを迎え、今夏の悪天候で旅行を控えていた観光客の、国内旅行需要に期待している。
		通信会社（経営者）	・ 県知事も代わり、国政自体が変わろうとしている。そこに期待する以外に方法はない。
		通信会社（総務担当）	・ 一番人気の商品は供給が安定せず、売上に貢献しない恐れがあるものの、ほかの新商品も出そろい、多くの客のニーズに広くこたえられる時期である。
		テーマパーク（職員）	・ 新駅開業以降、来園者数の増加だけでなく、飲食物販の客単価も上昇している。
		遊園地（職員）	・ 今後も夏季にオープンした新規施設やイベント実施等により、引き続き多くの来園客を期待する。
		ゴルフ場（総務担当）	・ 10月からトップシーズンとなり、来場予約は順調で、前年を上回る状況である。この先は上向いていくと予想する。
		設計事務所（所長）	・ 衆議院の解散総選挙により自民党が勝てば、消費税10%への増税前の駆け込み需要が期待できる。
		商店街（代表者）	・ 客の節約志向が一層進むなかで、運動会や行楽に出かける機会が多くなる季節のため、好天の日が続くことを期待している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ 現状、政治情勢が不安定で、保守が主流になってくれないと、景気の浮揚は考えられない。また最近、家庭の必需品の値上げも今後に関係するが、年末に向かっては変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・ 衆議院選挙絡みで消費税増税が話題となっているが、必要な物を必要な時に購入するケースが多いなか、増税前に駆け込み消費に走るのかは疑問である。消費者が消費に動かないと先は見えてこない。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・ 地方の末端では消費意欲が改善する要素はない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・ 今の経済状況では、今後良くなる見通しはない。今の政治や会社が変わっていかないことには、末端の消費者の購買が上がることはない。
	百貨店（営業担当）	・ 株価も上がってはいるが、一般的に景気が良くなった実感はあまりない。消費全体では、さほど変化はない。	
	百貨店（営業担当）	・ 個々の商品群では好調に推移しているものも散見され、全部が悪いという状況は脱したようである。しかしながら、店全体の復調は衣料品の売上次第のところが大きく、2～3か月先も変わらない。	
	百貨店（店長）	・ 依然として消費に力強さはみえない。ただし、食品の売上は好調である。また、百貨店では客の高齢化が進んでいることも売上低迷の原因だが、年金等、先の見えない状況で、消費行動も慎重にならざるを得ないのかもしれない。	
	スーパー（経営者）	・ 客の節約志向が依然として強い。	
	スーパー（総務担当）	・ 来客数、売上共に全業種で前年より悪い状況が続いている。この先も売上の増える与件もなく、来客数減の悪い状態が続く。	
	スーパー（商品部担当）	・ 現状、天候不順の影響が農作物に出ており、今後の売上、販促に影響が出ると予想する。ただし、全体的には単価は上昇傾向にあり、売り方次第では変化が出そうである。イベントや販促も人手不足により手間がかけられず、客単価上昇は見込めない。	
	コンビニ（経営者）	・ 給料日の多い25日以降は、客足、客単価共に戻り、売上は前年比を超えている。ただし、全体的に客の給料が伸びている様子はない。	

コンビニ（店長）	・思った以上に天候に恵まれ、順調に推移した今月で、特に、下旬の動きが良かった。3か月後も良好な年末商戦であることを期待している。
コンビニ（店長）	・同業他社の出店の影響は、今月と比べると特段変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・展示会でさまざまなイベントをやっても、付加価値のあるプレゼントをしても、全く集客ができない。これから良くなる要素がない。
乗用車販売店（販売担当）	・10～12月を控えており、例年なら尻上がりで良くなる。ただし、今年は衆議院選挙があるので、選挙の年はどうしても選挙前後の売行きが鈍るので、例外なく来月は良くないのではないかと。現状の売上程度は維持できるとみている。
自動車備品販売店（経営者）	・労基署の労働時間、残業時間の監査が、小型飲食店にも入り、ランチの営業を中止しているところもある。近隣の大型ショッピングセンターの開業で、時給が400円ほど上がり、中小小売店のパート、アルバイトが転職してしまい、営業に支障をきたしている店も増えている。また、通信販売で購入する客も多くなっている。
住関連専門店（店長）	・直近の来客数が、ほぼ前年どおりの推移で変わらない。
住関連専門店（仕入担当）	・衆議院選挙も予定されるなか、不安定要素が増し、消費マインドは下がったまま、当分変わらない。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注状況を見る限り、販売量は現在のままで推移する。
一般レストラン（経営者）	・どの程度続くのか未知数ではあるが、夏場を過ぎても県外客の動きに衰えはみえない。
一般レストラン（経営者）	・政権が不安定で、地方創生政策も全く進んでいないため、地方の活性化は、いまだ遅れている。
一般レストラン（経営者）	・秋は屋外でのイベントが多数予定されており、天候次第で人出が大きく左右される。好天となれば景気にも良い影響が出ると期待している。
スナック（経営者）	・これ以上悪くならないでほしいという意味で変わらないとしている。
観光型旅館（経営者）	・忘年会も動きが少なく、秋から冬にかけて現在のやや悪い状態で推移するのではないかと。
都市型ホテル（経営者）	・前年実績との比較分析をした結果、変わらない。
都市型ホテル（スタッフ）	・10月の大規模商業施設開業や、近隣のアリーナ施設関連の集客等で、前年比、予算比共に達成が見込まれている。年末の忘年会関連の数字が若干弱いものの、年明けは持ち直している。変わらないというよりは、良い状況が続いている。
都市型ホテル（副支配人）	・10～11月は団体予約を多く受注できており、しばらくは安定した売上が見込めそうである。
旅行代理店（経営者）	・宿泊を伴う忘新年会の申込が、前年と変わらない。
旅行代理店（所長）	・このまま推移すれば大きく良くなるとはいえないものの、一定程度は良い結果が期待されていた。しかし、衆議院選挙の関係で見通しがきかなくなっている。
タクシー運転手	・地域の人間だけでは、利用客が増える要素はない。
タクシー運転手	・衆議院選挙もあり、今後どうなるか不明である。
タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くないので、この先も変わらない。
通信会社（経営者）	・地方では、高齢者の占める割合が多いため、景気が急激に上向くことはまずありえない。また、個々の消費意欲が緩やかに上向いてきたとしても、人口減、高齢化による顧客減少で帳消しである。その上、都市圏から大手企業が地方にどんどん進出してくる状況で、今後景気が良くなることはない。危惧すべき点は、人口減少がさらに進み、商圏として魅力がなくなれば、大手はちゅうちょなく撤退し、より一層住みにくい街になってしまうことである。既に、その現象は見受けられ、スーパーやデパートの撤退が著しい。
通信会社（経営者）	・テレビ番組の魅力が低下しつつあり、テレビ離れがさらに進んでいきそうである。
通信会社（経営者）	・経済財政担当相が記者会見で、戦後2位の「いざなぎ景気」を超えた可能性が高いとの見通しを明らかにしたが、地方ではまだ実感がない。
ゴルフ場（経営者）	・秋のゴルフシーズンに入り、全ての曜日で平均的に予約が入っている。衆議院選挙への関心が高まり、来場予約にどう影響するか状況を見ている。
美容室（経営者）	・この先の秋の旅行シーズンを前に、美容院の予約が少しずつ入っており、美容にお金をかける人が徐々に増えている。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地域には大企業もあるが、街中に景気回復感がまるでない。

その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・今後の予約状況は、当社並びにテナント各社の動きも、来客数、予約は共に横ばいである。単価等も、ほぼ横ばいで、相対的に売上、販売量も横ばいで、変わらない。
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・世界情勢の不安定さから、将来が見通せず、しばらくは変わらない。
設計事務所（経営者）	・これから計画される案件も多く、間に合っていない。
設計事務所（所長）	・特定の1社の特殊事情ではなく、総体的に安値入札があるということは、すぐ景気回復するようにはいかない。
住宅販売会社（従業員）	・レジャーの多様化などにより、若年層の別荘離れが進んでいる。
住宅販売会社（経営者）	・衆議院選挙で消費税増税も争点になっていないため、起爆剤としての材料に乏しい。世情は選挙に対して冷ややかと予想する。中小零細企業にとって、ますます自助努力が必要となる。
商店街（代表者）	・昔はスポーツ用品店は冬になれば冬の商材が売れたが、今は、冬の商材を扱えば赤字になるので、取り扱わない。半年は、売上のないことを覚悟している。
商店街（代表者）	・旬の農作物の出来が良くないため、年末の贈答需要に向けて不安である。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・観光客は結構来ているが、買物をするのはなかなかない。当店は地元向けの商店なので、観光客は買わない。来月も良くなる要素はあまりない。
一般小売店〔家電〕（経営者）	・衆議院選挙で、また消費が落ち込むのではないか。
百貨店（営業担当）	・中間層の購買意欲は依然低いままであり、当分の間は継続すると予想される。また、競合店のオープンが控えており、懸念材料となっている。
スーパー（経営者）	・売上が前年を割っている。
スーパー（企画担当）	・首相が消費税10%への増税を公言したので、今後消費マインドは冷え込むため、やや悪くなる。
スーパー（副店長）	・求人倍率などからは景気が上向きのようなのだが、実際の売上や利益は依然として、前年割れが続いている。来店客も日々の生活で景気が良くなったと実感するまでには、至らないようである。また、3か月先は冬となるが、当地は雪国で、いろいろと出費がかさむため、財布のひもが固くなりそうである。
コンビニ（経営者）	・周辺の景気状況から、やや悪くなる。
衣料品専門店（統括）	・お祭りシーズンが終わるため、販売量は減少していく。しかし、暮れに向かうということで、年末、お正月に向かっての消費も多少あるのではないかと期待している。
家電量販店（店長）	・消費マインドが弱い。話題性のある高付加価値商材が出現しないと厳しい。
乗用車販売店（経営者）	・ここ数年、年末商戦が盛り上がり欠けているため、やや悪くなる。
乗用車販売店（経営者）	・政治、経済、国際などの諸問題により、なかなか希望を持ってない。これからの日本は大丈夫なのか心配である。
自動車備品販売店（経営者）	・身の回りでは人口が減っており、企業誘致や人の動きなどもあまりない。秋は低下傾向だが、従来と同じ仕事をしていても下降気味なので、自社で努力をして、なんとか巻き返し、現状維持に努めていくしかない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・来月、商圏内の駅前に大型商業施設が開業する。年内一杯、来客数は影響を受けそうである。
一般レストラン（経営者）	・地元での選挙や衆議院選挙など、選挙がある時は決まって景気は悪くなる。
都市型ホテル（支配人）	・10月に市長選挙を控え、更に国政選挙も重なると消費が落ち込む恐れがある。周囲の雰囲気は儉約ムードになりやすい。
都市型ホテル（営業担当）	・景気が良くなる要素が見受けられないところが一番大きい。例年、年末に向かって稼働が上がってくるが、現状は全体的に落ちているので、例年と比較すると悪いのではないか。
旅行代理店（副支店長）	・台風や天候不順による農作物の収穫時期の遅れや被害により、今後の旅行低迷が懸念される。通常、収穫が終わり秋の旅行へと受注が増加してくる時期だが、客足が鈍く来客数も落ちてきている。また国政選挙と市長選が重なり、厳しい繁忙期となりそうである。
タクシー（役員）	・ドライバーの確保が困難である。
通信会社（局長）	・8月のお盆の帰省や9～10月のお祭りで、当地に人は戻ってきているが、定住しているわけではないので、悪くなる。

	ゴルフ場（経営者）	・人口動態や諸外国の攻勢をみても、良くなるという期待を持つことはできない。
	競輪場（職員）	・今回開催したレースの売上が、台風の影響もあるかもしれないものの、今までの最低記録を塗り替えたためである。
	×	*
企業 動向 関連 (北関東)	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・10～11月と太陽光発電施設が増設になるため、良くなる。
	広告代理店（営業担当）	・年末は販促活動が活発になるので、良くなる。
	化学工業（経営者）	・受注量の上積みも期待できる引き合いが数件あり、荷動きが少し良くなると予想する。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・見積りや問い合わせが、出てきている。
	一般機械器具製造業（経営者）	・新規の仕事が立ち上がるとともに、他社で処理し切れない仕事の引き合いもあり、しばらくは高負荷な状況で推移する見込みである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・毎年10～12月に向かって、受注量は相当増えてくる。今まで全般的に低調だった取引先も10～12月には受注を増やしてくるので、前年とは雲泥の差で当社は伸びている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・北米向けの輸出、販売が増えている。
	建設業（開発担当）	・今期発注は前年比20%増と安定している。当社も前年比10%増の受注で一安心である。ただし、建設業は10年以上続いた不況業種で、経営は疲弊している。さらに公共工事発注が予算の10%減のため、利益計上の厳しい状況は続いている。今後は、発注者が予算額で発注してほしい。
	経営コンサルタント	・秋の本格的な行楽シーズンに向けて、若干ではあるが、家計にも余裕が出てきており、一定の季節需要が見込める。しかし、企業への投資は、個人消費の動向によるのには限界があり、政策的な刺激策が求められる。
	食料品製造業（営業統括）	・国内政治や世界情勢が不安定で、何が起こるか分からず、先の見通しが立たない。どちらに向かうかの判断が大変難しい状況である。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・初めての試みで、地元の工業大学のイベントに出展する。独自技術をPRすることで、多少でも受注につながることを期待している。
	金属製品製造業（経営者）	・材料代が上がって、じわじわと経費も増加しており、困っている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・新規取引先からの受注が出来たものの、現状、売上見込みは、いまだ不鮮明である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・年内の生産量は確保されている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この数か月は上がったたり下がったりで、取引先等の受注価格、販売価格等の動きもあまりないので、2～3か月先のことは分からない。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移するとみている。
	輸送業（営業担当）	・冬に向かって、暖房家電のヒーター、電気カーペットや冬物の衣類、寝具などの物量が増える予定である。ただし、物量に対するドライバー不足もあり、車両確保のための協力会社等への支出により、コスト高となるため、利益的には厳しくなりそうである。
	金融業（調査担当）	・海外リスクが生じなければ、製造業は現状の景況感が続くともみている。
	金融業（経営企画担当）	・米国と北朝鮮の関係悪化、米国大統領の政策に対して、不確実性が出てきているため、米国を始めとする先進国の景気が減速する可能性がある。
	不動産業（管理担当）	・11月頃にスポットで建物設備の改修が決まりそうではあるものの、当社にはさほどの増収要因にならない。その上、定期業務の延期や見送りと情報の入ってきているため、総体的には横ばいである。
新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・地方景気は改善が続くといった報道もあるが、小売関係者に話を聞くと、その多くは、実感がないとのことである。消費はそこそこあるものの、余分な消費は抑えられている。	
司法書士	・実際に動き出せば良いところだが、良くなる要因が少し足りない。	
社会保険労務士	・人手不足が続いており、今のままでは景気は拡大しないとみている。	

	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談数から見ても、特段変化はみられない。
	金属製品製造業（経営者）	・11月から昇降機部品の生産台数が減る。トラック部品は現状、あまりに忙しく顧客の要求数量を納品できないため、11月の転注が決まっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・長期的な仕事が望めず、将来が見通せない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・米国、北朝鮮情勢で、株価、為替の上下があるところに、衆議院選挙の影響で、ようやく回復基調にある市況が再び沈静化してしまう恐れがある。中国市場は相変わらず活況で、香港で行われた展示会は期待以上に売れている。
	建設業（総務担当）	・衆議院選挙になり、先行き不透明な部分もあり、やや悪くなる。
	通信業（経営者）	・今月、来月あたりで大口の仕事が終わりそうである。
	× 食料品製造業（製造担当）	・会社の体力勝負となっているが、安売り競争で販売している状況は何も変わらず、適正価格で販売しようと努力はしない。地方は既に疲弊しており、売上はあっても利益の出ない状況である。
	× 出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月のことだが資金繰りが大変である。
雇用 関連 (北関東)	職業安定所（職員）	・半導体関連製造の多くの企業から、2020年頃までは受注増の見込みとの話を聞いている。
	人材派遣会社（経営者）	・求人募集は沢山あるものの、求職者があまりいないため、苦戦している。以前よりは売上は良くなっている。
	人材派遣会社（経営者）	・原油価格の動向も気になる。灯油、ガソリン等が値上げすると、多少影響があるのではないかと。建設、建築、土木等は、公共事業もあり、順調とみている。製造業は追い込みもあるが、電子、電機、自動車関連等を含めて、一進一退ではないかと。
	人材派遣会社（社員）	・取引先の宿泊施設関係では、稼働も順調に伸びており、前年と比べて稼働率が高いところが多い。また、求人募集をかけても、全く応募者からの反応がない。我々のような人材派遣業以外での採用が多くあるため、こちらの募集に回ってこないのではないかと。こうした状況はしばらく続くともみている。当地区全体でいうと入込数も比較的多く、しばらくは、このまま推移する。
	人材派遣会社（管理担当）	・生産計画に特段変化はなく、良い要素も悪い要素もない。
	人材派遣会社（営業担当）	・衆議院選挙と市長選挙があり、政治の行方も気になるところなので変わらない。
	人材派遣会社（支社長）	・電話をしても広告を打っても、全く反応がない。1か月続けても同じで、年末、年度末にしか人が動かず、派遣社員の長期安定思考が顕著になっている。これではいくら需要があっても、成り立たない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・中規模の飲食店や流通業などは、需要があっても従業員確保に苦労しており、常に求人募集をしている。人手不足が解消せず、依然として厳しい状況は続いている。
		職業安定所（職員）
	×	-